

「第39回 全国青年の集い2025 in 山梨 健康経営大賞」

吉村アドバイザーフィードバックシート

吉村健佑氏：精神保健指定医・労働衛生コンサルタント・公認心理師・
千葉大学医学部附属病院 特任教授・産業医・
全法連青連協健康経営プロジェクトアドバイザー

対象：ファイナリスト青年部会・部会員企業

【部会員企業】

(県連・単位会)	良かった点・評価できるポイント	今後の取り組みに向けてのアドバイス
みなみ設備工業 株式会社 (石川・松任)	2018年より開始された各種の取り組みが、現在も34項目すべて継続されている点は、極めて稀有であり高く評価されるべきものです。単に取り組みの「量」を追求するのではなく、「継続」を重視する姿勢が企業文化として確立していることは大きな強みです。こうした継続性は、組織内部における意識の定着のみならず、外部からの信頼性向上にも大きく寄与しており素晴らしい取り組みです。	今後の課題として、実施している施策の効果を、社員および外部関係者に対してどのように分かりやすく伝えていくかが挙げられます。例えば、健康診断結果の改善傾向やストレスチェックの改善率といった客観的な数値、さらには社員の声を年次でまとめることで、取り組みの成果に対する説得力が一層高まると考えられます。 現在は環境改善型の施策が中心となっていますが、将来的には「社員が自分に合うプログラムを選択できる仕組み」へと進化させることで、社員一人ひとりの主体性を育むことができます。